

製品名: GABA T-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11231**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC6A1 GABATR GABT1 GAT1
別名	Sodium- and chloride-dependent GABA transporter 1 (GAT-1;Solute carrier family 6 member 1)
遺伝子 ID	6529.0
SwissProt ID	P30531
免疫原	抗血清はヒト SLC6A1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 170-220

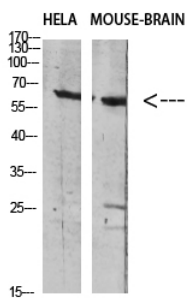
背景

SLC6A1 遺伝子は、シナプス間隙から GABA を除去するガンマアミノ酪酸 (GABA) トランスポーターをコードします (Hirunsatit et al.、2009 [PubMed 19077666])。[OMIM 提供、2009 年 7 月]、ドメイン:PDZ ドメイン結合モチーフは、MPP5 との相互作用に関与しています。機能:シナプス前末端への高親和性ナトリウム依存性再取り込みにより、GABA の作用を終結させます。その他:このタンパク質は、アンフェタミンやコカインなどの精神運動刺激薬の標的 です。類似性:ナトリウム:神経伝達物質共輸送体 (SNF) ファミリーに属します。細胞内位置:細胞膜および細胞内小胞のサブセットに局在します。介在ニューロンのシナプス前終末に局在する。サブユニット:MPP5 と相互作用する。

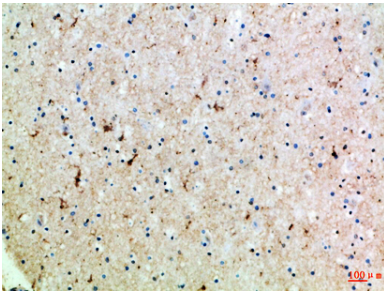
研究分野

-

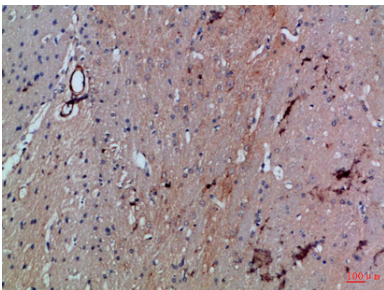
画像データ



抗体を用いた HELA マウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された